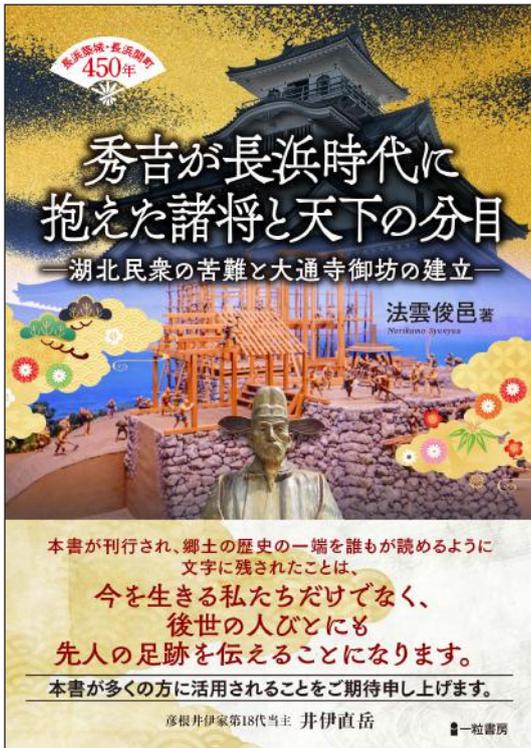


長浜築城・長浜開町450年 秀吉が長浜時代に抱えた諸将と天下の分目 —湖北民衆の苦難と大通寺御坊の建立—

四六判・並製本／180頁／定価：1980円(本体1800円+税)

法雲俊邑 [著]



本書では、秀吉が長浜時代に抱えた諸将を中心に、家来として採用し、妻のねねとともに人間関係をきづいた人々の話を取り上げている。驚く事にこの諸将達こそ戦国時代の立役者であり、天下分目の戦いでも勝敗を左右した。

当時代の戦国史やその分野の新発見に興味をもつ方々に、出来るだけ初耳の事柄を取り上げた。多くの資料をもとに教科書にはあまり書かれていない、こぼれ話を発掘して書いている。

例えば、一向一揆は何故起ったのかという事についても、一般には、あまり述べられていないが、従来の荘園制度の重層的な支配で搾取され続けた農民が、自治自立を求めた抵抗運動であったとする事が理解しやすい。この運動の中から湖北の民衆が署名した血判阿弥陀如来絵像の謎を解明している。

- 何故、信長は本願寺と戦ったのか、
 - 何故、秀吉が天下を取れたのか、
 - 何故、家康が関ヶ原で勝利したのか、
- などを分かりやすく解説している。

●目次より

- 大河ドラマで描かれるかも／長浜市長 浅見宣義
- 推薦のことは／彦根井伊家第十八代当主 井伊直岳
- 1章／長浜から始まった秀吉の出世街道
- 2章／湖北一向一揆の影の人
- 3章／秀吉の勝利への取引
- 4章／秀吉の最後と長浜衆の動向・二勢力の葛藤
- 5章／血判絵像と大通寺(長浜御坊)の建立
- 6章／大通寺のその後と長浜の発展

【著者紹介】法雲 俊邑(のりくもしゅんゆう)

1948(昭和23)年に滋賀県米原市に生まれる。修士、Ph.D.(SFSU)。愛知学院大学大学院博士前期課程修了。文部省在外研究員。滋賀大学、龍谷大学、星城大学の各教授を経て、定年退職後、星城大学名誉教授。2010年中国湖南工学院大学名誉教授、現在、観行寺住職。

1970年代にパソコンLANを国内で最初期に開発、1997年代に携帯電話の電波帯域の有効活用に貢献する。経営工学会、近畿電気通信監理局、保護司等々、貢献賞を受ける。

●単著：専門書「経営工学」、「情報ネットワーク」等多数。思想分野「ブッダの生涯と仏像の誕生」等著す。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			法雲俊邑 [著] 長浜築城・長浜開町450年 秀吉が長浜時代に抱えた諸将と天下の分目 —湖北民衆の苦難と大通寺御坊の建立— 四六判・並製本／180頁 定価：1980円(本体1800円+税)
冊			ISBN978-4-86743-300-3 C0021 ¥1800E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い